

練馬区立
厚生文化会館

< 事業概要 >
= 平成 28 (2016) 年度版 =



(発行 : 厚生文化会館)

《 はじめに 》

練馬区立厚生文化会館は、地域の皆様の相互交流や自主的な活動を促進し、高齢者や子どもたちの福祉を増進するとともに、人権尊重に関する活動を推進することを目的としている施設です。

当会館は、昭和 12 年（1937 年）6 月東京府社会事業協会によって設立された「練馬隣保館」が前身であり、戦後、地域のみなさんの公立化運動が実を結び、昭和 48 年（1973 年）に保育園、児童館、学童クラブ、敬老室、集会室を併せ持った「練馬区立厚生文化会館」へと生まれ変わりました。

平成 2 年（1990 年）には、練馬保育園が分離・独立し、さらに、平成 5 年（1993 年）には、建物の老朽化が進んだため、建て替えを行いました。また、平成 20 年（2008 年）には外壁・空調機等大規模改修工事を行い、現在に至っています。

今後とも、子どもから高齢者まで、様々な活動や交流の場として、地域に開かれた施設を目指します。

<目 次>

1	沿 革	P 1
2	施設の概要	P 2
3	事業報告（実績）	
	（1）児童館事業	P 5
	（2）学童クラブ室事業（練馬保育園共催事業あり）	P 8
	（3）敬老館事業	P 10
	（4）集会室事業	P 12
	（5）館全体事業（練馬保育園共催）	P 14
	（6）人権関係図書事業	P 15
	（7）その他事業	P 16
4	平成28年度（2016年度）厚生文化会館事業計画	P 17

〔資料〕

1	練馬区立厚生文化会館条例	P 19
2	練馬区立厚生文化会館条例施行規則	P 23
3	練馬区立厚生文化会館運営協議会設置要綱	P 28
4	団体登録について	P 30
5	集会室の利用について	P 31
6	敬老室の利用について	P 32

《 1 沿 革 》

昭和 1 2 年 (1937 年) 6 月	練馬隣保館設置・東京社会事業協会融和部の設置運営 保育・診療・集会室事業
昭和 2 5 年 (1950 年)	戦後、東京都福祉事業協会 (社会福祉法人) の経営 保育園事業のみ継続
昭和 4 7 年 (1972 年) 3 月	練馬隣保館改築開始
昭和 4 8 年 (1973 年) 3 月	練馬区立厚生文化会館竣工 (練馬区立練馬保育園併設)
” ” 4 月 1 日	練馬区立練馬保育園開設
” ” 5 月 1 日	練馬区立厚生文化会館利用開始
” ” 10 月	第 1 回運動会 (豊島園) ・もちつき大会始まる
昭和 5 5 年 (1980 年) 11 月 11 日	練馬地区環境改善都区地元協議会発足
昭和 5 7 年 (1982 年) 12 月	練馬区環境改善計画策定
昭和 6 2 年 (1987 年) 10 月	運動会にかえて第 1 回けやきまつり開催
平成 2 年 (1990 年) 2 月	練馬区立練馬保育園完成 (厚生文化会館より分離)
平成 3 年 (1991 年) 4 月 1 日	厚生文化会館仮設棟業務開始 (練馬 3 - 2 0 - 8) 学童クラブ南町小学校空教室利用業務開始
” ” 6 月	厚生文化会館改築開始
平成 5 年 (1993 年) 5 月	厚生文化会館改築竣工
” ” 6 月	厚生文化会館改築披露式典
” ” 7 月 1 日	厚生文化会館新館業務開始
平成 6 年 (1994 年) 11 月 21 日	練馬地区環境改善都区地元協議会解散式
平成 1 4 年 (2002 年) 5 月 30 日	厚生文化会館運営協議会開催 会長 岡 孝氏選出
平成 2 1 年 (2009 年) 3 月 31 日	厚生文化会館 1 5 周年大規模改修工事完了

《 2 施設の概要》

(1) 施設の目的

地域住民の相互交流および自主的活動を促進し、児童および高齢者の福祉の増進を図るとともに、人権尊重活動を推進することを目的として設置された施設で、つぎの事業を行っています。

児童福祉法第40条にもとづく児童館事業
敬老館事業
集会室事業
人権尊重に関する事業
前各号のほか、区長が必要と認める事業

(2) 利用日および利用時間

区分	利用日	利用時間
児童館事業(児童室)	日曜、祝祭日、年末年始を除く	午前10時から午後6時 ただし、土曜日と三季休業日等は午前9時から午後6時
敬老館事業(敬老室)	日曜、祝祭日、年末年始を除く	午前9時から午後5時
集会室事業	年末年始を除く	午前9時から午後9時30分
学童クラブ事業	日曜、祝祭日、年末年始を除く	午前9時から午後6時

年末年始は、12月29日から1月3日です。

三季休業日等とは、区立小中学校の夏・冬・春休み期間および都民の日です。
全館清掃等で臨時に休館する場合があります。

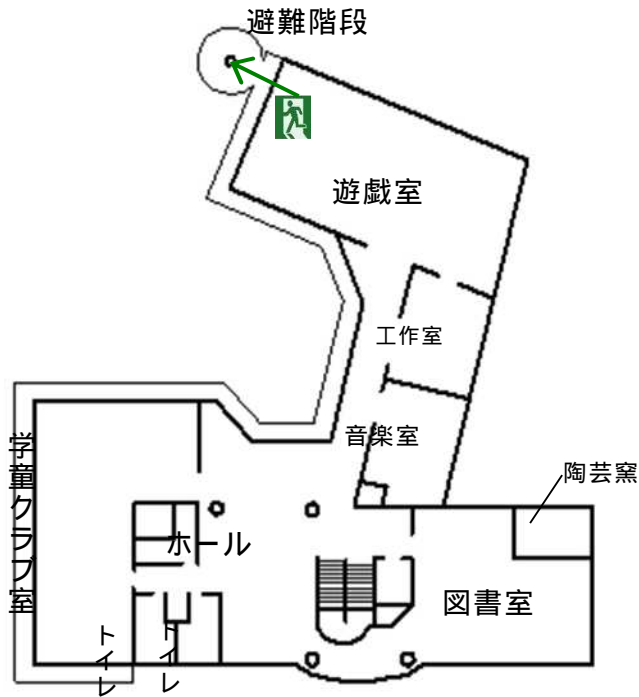
(3) 職員構成〔平成28年4月1日現在〕

館長	1名
事務	2名
児童指導	6名
用務(再雇用含む)	3名
以上	12名

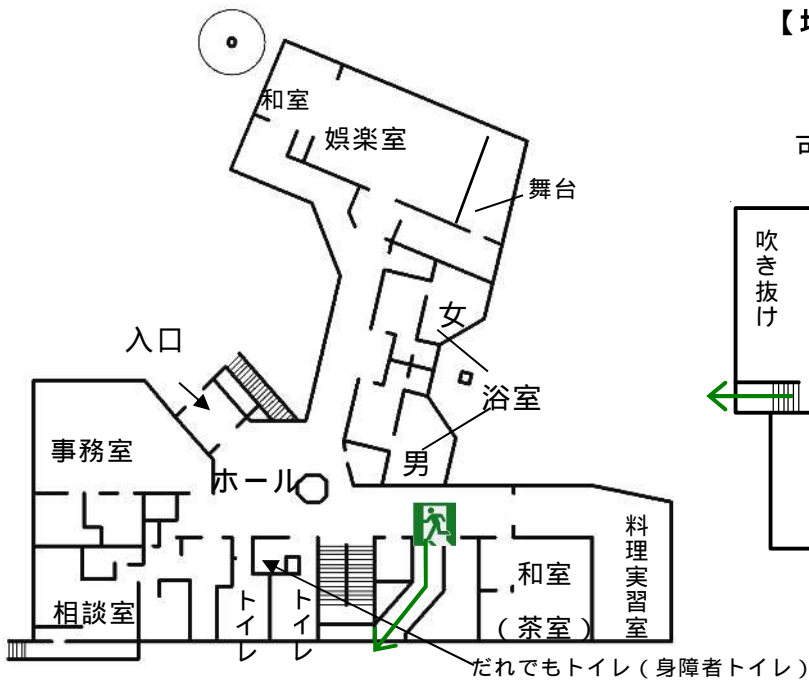
(このうち副館長2名、事務・児童指導に各1名)

(4) 各階案内図

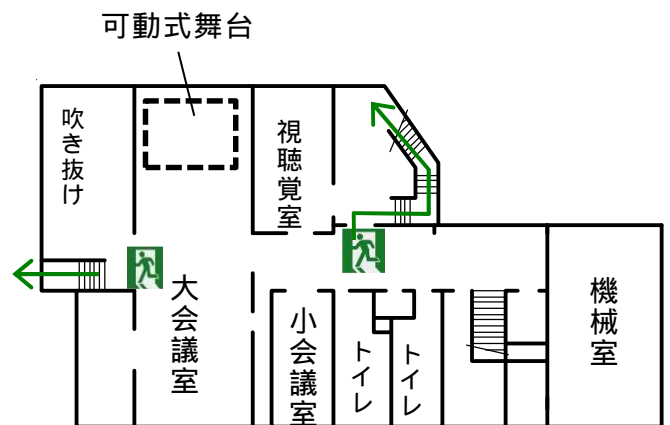
【2階】



【1階】



【地下】



(5) 運営協議会の設置

当館の設置目的(地域住民の相互交流および自主的活動の促進 児童および高齢者の福祉の増進 人権活動の推進)の趣旨に沿った館の適切な運営を図るため、地域の町会等の各種団体代表者や館利用者から構成(委員 24名)された厚生文化会館運営協議会が設置されています。

(6) 集会施設の使用料・定員等
使用料・定員

施設名	使用料(円) 1時間につき	定員 (名)	特徴
大会議室 (85㎡)	700	50	可動式舞台・調光設備・音響設備などのある多目的集会室です。
小会議室 (20㎡)	200	8	小規模の会議用の集会室です。
視聴覚室 (30㎡)	300	10	小規模の会議用の集会室です。 ピアノがあります。
和室 (39㎡) (畳部分12.5畳)	300	10	炉と水屋(3畳)を備え、茶室としても使用できます。
料理実習室 (56㎡)	500	20	調理台3台と講義用ホワイトボード があります。

貸出設備・備品(有料)

設備・備品	使用できる 部屋	使用料(円) 1時間につき	設備・備品	使用できる 部屋	使用料(円) 1時間につき
可動式舞台	大会議室	250	カラオケ	大会議室	250
調光設備	大会議室	250	ビデオプロ ジェクター	大会議室	200
音響設備	大会議室	250	茶道具	和室(茶室)	100
ピアノ(アップ ライト)	視聴覚室	250			

貸出物品(無料)

ラジカセ	電子ピアノ	座布団
テレビ・ビデオ・DVD	譜面台	レクソンバー
ホワイトボード	鏡(姿見)	ワイヤレスマイク
ゴザ		

その他、ポット・湯のみ・コップ等も無料でお貸ししています。

(7) 夜間・休日の施設管理

夜間(午後5時から午後9時30分)と休日(日曜および祝休日の集会室の利用のある午前9時から午後9時30分)は、シルバー人材センターの業務者が窓口受付等の業務を行っています。

《 3 事業報告(実績) 》

(1) 児童室事業

1 児童対象事業

健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を育むことを目的にこどもたちが楽しく遊べる場の提供と館内・館外での各種行事を実施しています。行事への参加の募集は、児童室だより（毎月 **1,100部程度**発行）でお知らせしています。

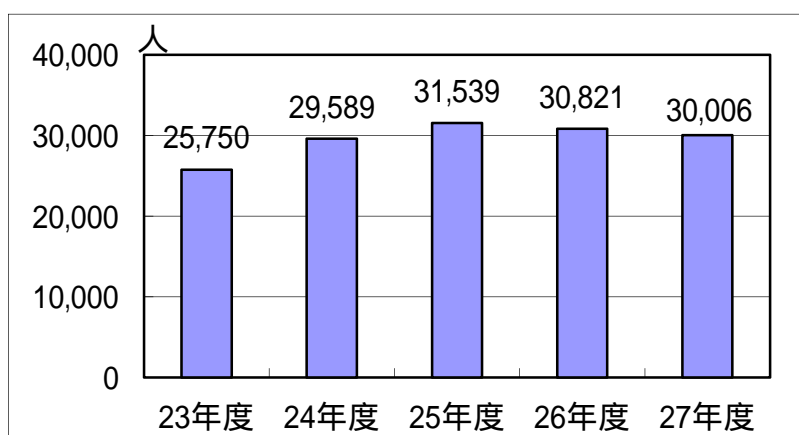
児童室利用人員

平成 **27** 年度利用人員

（単位：人）

幼 児	小学生	
4,823	20,045	
中高生	保護者	計
373	4,765	30,006

利用人員の推移



クラブ活動（児童室）事業

小学生を対象に、専門家による指導のもと、工作クラブやリズムダンスなどの各種のクラブ活動を通じて、こどもたちの豊かな健全育成をはかることを目的に実施しています。平成 **27** 年度は、**11** クラブを実施しました。主な活動実績はつぎの表のとおりです。

平成 **27** 年度のクラブ活動実績

クラブ名	開催数	参加人数 (延べ)	平均人数	クラブ名	開催数	参加人数 (延べ)	平均人数
リズムダンス	12	160	13	フットサル	7	76	11
工作（安田先生）	5	312	62	けん玉クラブ	6	45	8
工作（稲角先生）	3	112	37	卓球クラブ	4	90	23
音楽であそぼう	5	42	8	一輪車クラブ	6	54	9
英語であそぼう	3	45	15	おはなし会	8	98	12
科学であそぼう	4	144	36				

館内行事

平成27年度に実施した館内行事と参加者数は、つぎの表のとおりです。

実施月	行事名	内 容	対 象	参加者数 (人)
4	新入生歓迎会	児童室の紹介やゲームなど。	小学生	103
5	ビーズストラップ作り	ビーズでストラップを作る。	小学生	62
6	革細工	革に刻印をして、小銭入れを作る。	小学生	24
6	スーパードッジボール大会	5人でチームを作り、スーパードッジボールの試合をする。	小学生	54
6	紫陽花の箸置き作り	陶芸で紫陽花の葉の箸置きを作る。	小学生	30
7	ランチクッキング	ハヤシライスとサラダ作り。	小学生	20
7	けやっきー工作週間	紙漉きやうちわ作りなどを行う。	小学生	59
8	けやっきー人形劇まつり	人形劇、パネルシアター4団体の上演。	幼児～	85
8	ベーゴマ大会	ベーゴマを大会形式で楽しむ。	小学生	54
10	ハロウィンクッキング	パンプキンブディング作り。	小学生	14
10	毛糸の小物入れ作り	毛糸を使って小物入れを作る。	小学生	56
11	こどもえんにち	こどもスタッフが中心となり、ゲームやお買い物のごっこを楽しむ。	小学生	385
11	スノーマン作り	軍手でスノーマンを作る。	小学生	29
12	弦楽コンサート	弦楽四重奏を鑑賞・体験。	幼児～	62
1	新春ゲーム大会	福笑い、羽根つき、カルタの大会。	小学生	61
2	オリジナル鉛筆作り	好きな柄の鉛筆作り。	小学生	25
2	バレンタインクッキング	チョコレートタルトを作る。	小学生	25
2	雛人形作り	陶芸で雛人形を作る。	小学生	43
3	ランチクッキング	和食作りと鰹節削り体験。	小学生	25
3	手作りビーズ	指輪にもなる桜のストラップ作り。	小学生	15

館外行事

平成27年度実施した館外行事と参加者数は、つぎの表のとおりです。

行事名 内 容	対 象	実施 月	行き先	参加者数 (人)
児童館連合行事 「ドッジボール&ゲーム大会」	小学生	7	光が丘体育館	44
集結！光フェスタ	小学生	1	光が丘なかよし児童館	19
児童館交歓フェア	小学生	1	豊島公会堂	12
春の遠足「スケートに行こう」	小学2年～	3	グランド・トリコアイスアリーナ	22

- 練馬区の児童館全体での行事への参加 ... (児童室の参加した内容)
 5月の練馬こどもまつり(光が丘会場) ... 「ストリートパフォーマーになろう」
 1月の児童館展(練馬区立美術館) ... 工作物などの展示

2 子育て支援事業

幼児とその保護者の方を対象に、お子さんと保護者が楽しく遊べる場を提供し、幼児と保護者間の交流や保護者同士の交流を推進することを目的に実施しています。事業の開催日時は、児童室だよりで毎月お知らせしています。

よちよち(1歳以上の幼児が対象)

登録制 毎週金曜日の午前10時30分から
 手遊びやふれあい遊び、季節行事を楽しむ会

とことこ(2歳以上の幼児が対象)

登録制 毎週水曜日の午前10時30分から
 体操や工作、おはなし会、リトミック等を楽しむ会

わくわくランド(3歳以上の幼児が対象)

毎月1回 水曜日13時15分から
 幼稚園児と保護者が集まり工作等を楽しむ会
 保護者の自主運営

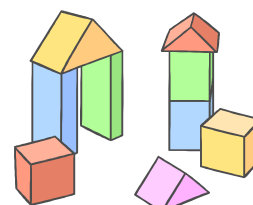


平成27年度 幼児対象事業実績

よちよち					
登録者数	年間実施回数	延べ参加者数		1回あたりの平均参加者数	
		120組の親子	41回	896組	1792人

とことこ					
登録者数	年間実施回数	延べ参加者数		1回あたりの平均参加者数	
		63組の親子	37回	650組	1300人

わくわくランド					
年間実施回数	延べ参加者数		1回あたりの平均参加者数		
	11回	469組	938人	42組	85人



(2) 学童クラブ室事業

1 学童クラブ事業

放課後、家庭において保育を必要とする小学校1年生から6年生までの児童を対象に、保育や指導を行い、集団生活や遊びを通して日常生活に必要な習慣を身につけられるよう、児童の健全な育成を図ることを目的とした事業です。

<27年度の指導目標>

子どもたち一人ひとりにとって、安心して過ごせる生活の場にする。

異年齢の関わりの中で、お互いの個性や存在を認め合い、思いやりの心を育てる。

日常生活の中で基本的なきまりを守り、互いに気持ちよく生活できるようにする。

<27年度的主要事業内容>

・主な主催行事

新入生歓迎会(4月) 親子行事(5月・10月) 遠足(7月・3月)
年末お楽しみ会(12月) 新春お楽しみ会(1月) 進級お祝い会(3月)
誕生会・おやつ作り・工作活動等

・連携事業

児童室(こどもえんにち)
敬老室(七夕のつどい、敬老の日のつどい)
南町小学校みかんのひろば(放課後こどもプラン連携事業)

・保護者会(4回) 個人面談(1回) クラブだより(38号発行)

在籍者数(平成27年4月1日現在)

1年生	2年生	3年生	計
21人	28人	11人	60人

定員40人



平成27年度 一日当たりの平均出席児童数

	年間出席 延べ人数 ア	開館日数 イ	一日当たり平均 出席児童数 ア÷イ
平日	11,606人	243日	47.7人
土曜	662人	51日	12.9人
計	12,268人	294日	41.7人

2 子育て支援事業

フレッシュキッズ（練馬保育園と共催事業）

対象年齢：1歳半以下の乳児

開催日：4、8、3月を除く毎月1回 午前10時30分～11時30分

事業内容：

保育士による手遊びや育児相談の他、栄養士による個別栄養相談、看護師による健康相談、パネルシアター、リズム遊び等。

にこにこ（学童クラブ室有効活用型事業）

対象年齢：0歳～よちよち歩きの赤ちゃん。

開催日：毎週火・水・金曜日の午前10時～12時。

終了後、昼食場所の提供。

事業内容：

親子の交流事業で、毎回の手遊び等の交流の他、季節の工作、ジャンル別クイズ、はいはいレース、誕生会等。

平成27年度 子育て支援事業実績

フレッシュキッズ		にこにこ	
回数	延べ参加者数	回数	延べ参加者数
9回	194人	111回	1836人



(3) 敬老館事業

満60歳以上の高齢者に憩いの場を提供し、相互交流の促進と心身の健康維持・増進を図ることを目的に実施しています。

利用には、敬老室の利用者登録が必要です。

< 主な行事 >

太極拳講座（月2回）、竹ふみ健康体操（月1回）、いきいき体操教室（在宅介護支援センターとの共催）、七夕のつどい、敬老の日のつどい、新春芸能発表会など

開催日は、その都度「館だより」でお知らせしています。

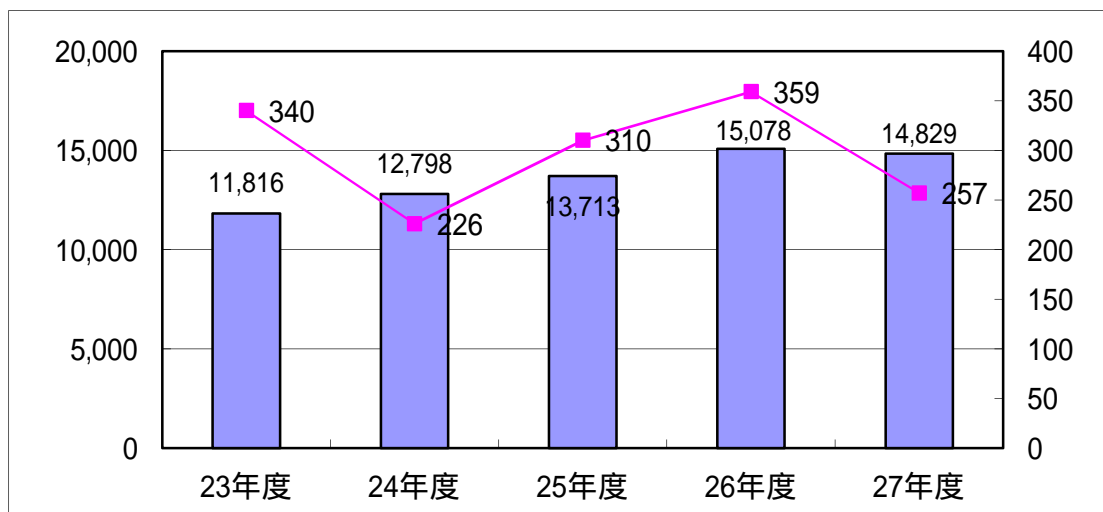
敬老室利用者数と登録者数

敬老室利用人員と登録者数の推移 単位：人

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
利用者数	11,816	12,798	13,713	15,078	14,829
登録者数	340	226	310	359	257

登録は3年間有効。24、27年度は更新年度。

23、25、26年度は各更新期間内の累計数。



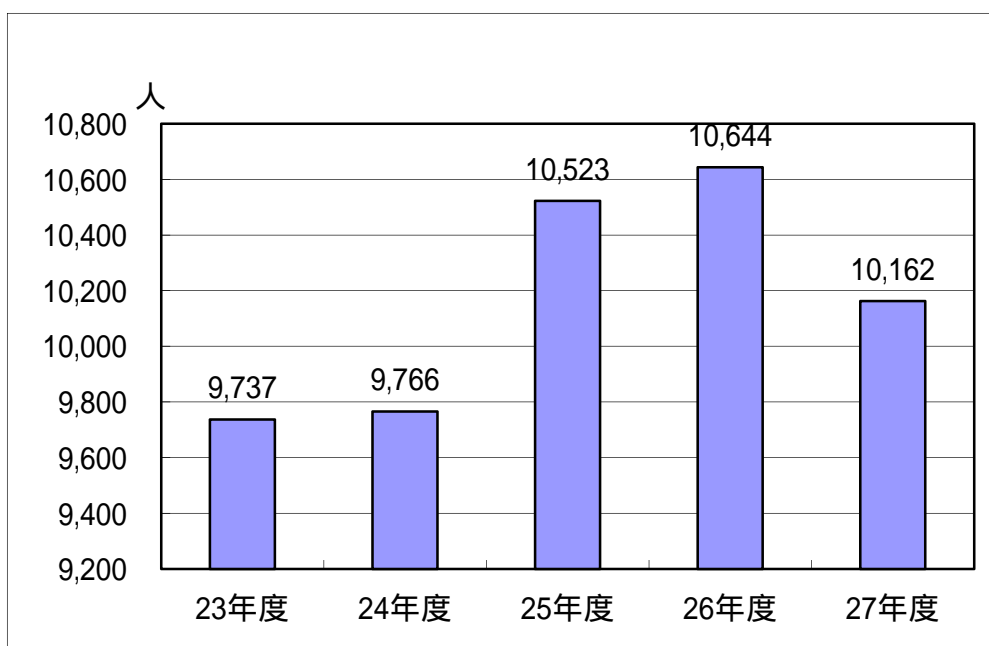
浴室の利用

練馬区民の60歳以上の方を対象に毎週、月・火・水・金・土曜日の午後1時から4時が入浴時間となっています。

平成27年度浴室利用者数 単位：人

	男性	女性	計
利用人員計	5,562	4,600	10,162

浴室利用者数の推移



東日本大震災のため、平成 23 年 3 月 15 日～4 月 9 日までお風呂は閉室。
平成 24 年度は、浴槽改修工事を行った。工事は、男女の浴槽を一つずつ順番で行い、6 月 15 日～7 月 5 日まで一つの浴室を男女隔日の利用とした。

その他の敬老事業実績

主な敬老行事の年度別実績

単位:人

	七夕のつどい	敬老の日のつどい	新春芸能発表会	映画会	いきいき体操教室	太極拳	竹ふみ健康体操	よりあい喫茶
23年度	45	50	46	157	268	269	133	
24年度	48	46	50	173	292	303	149	
25年度	61	38	58	175	270	318	188	
26年度	47	43	49	139	237	343	187	168
27年度	52	36	41	134	234	373	145	230

26年度から「よりあい喫茶」参加者を計上した。

(4) 集会室事業

地域住民のサークル活動や文化活動等を推進することを目的に活動場所の提供をしています。

利用方法

利用予定日の1か月前から当日までに直接、館に申し込みとなります。

なお、官公署、地域の公共的団体等の利用については、利用予定日の2か月前から申し込みができます。詳しくは資料5「集会室の利用について」とおりです。



<使用料の減免>

官公署、地域の公共的団体等の利用は、使用料が免除または50%の減額となります。

地域住民の相互交流や自主的活動に利用する場合は、団体登録により50%減額になります。

団体登録

地域の方々に構成する5名以上の地域活動、文化活動を継続的に行う団体が団体登録することができます。

団体登録の要件、申請方法等は、資料4「団体登録について」とおりです。

なお、平成28年3月末現在の登録団体数は、24団体となっています。

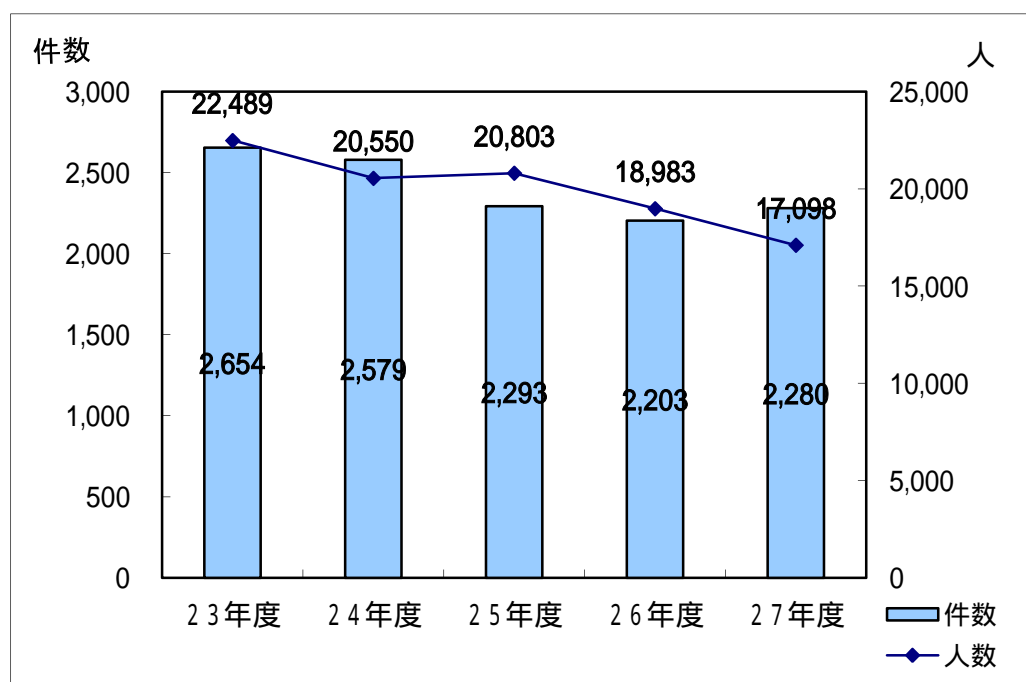
集会室利用状況

平成27年度

施設名	件数	時間数	人数	稼働率
大会議室	655	1,878	8,674	42.44%
小会議室	608	1,767	2,317	39.93%
視聴覚室	655	1,659	3,799	37.49%
和室(茶室)	281	749	1,317	16.92%
料理実習室	81	354	991	8%
合計	2,280	6,407	17,098	

稼働率 = 利用時間 ÷ 年間開館時間 (12.5時間 × 354日)

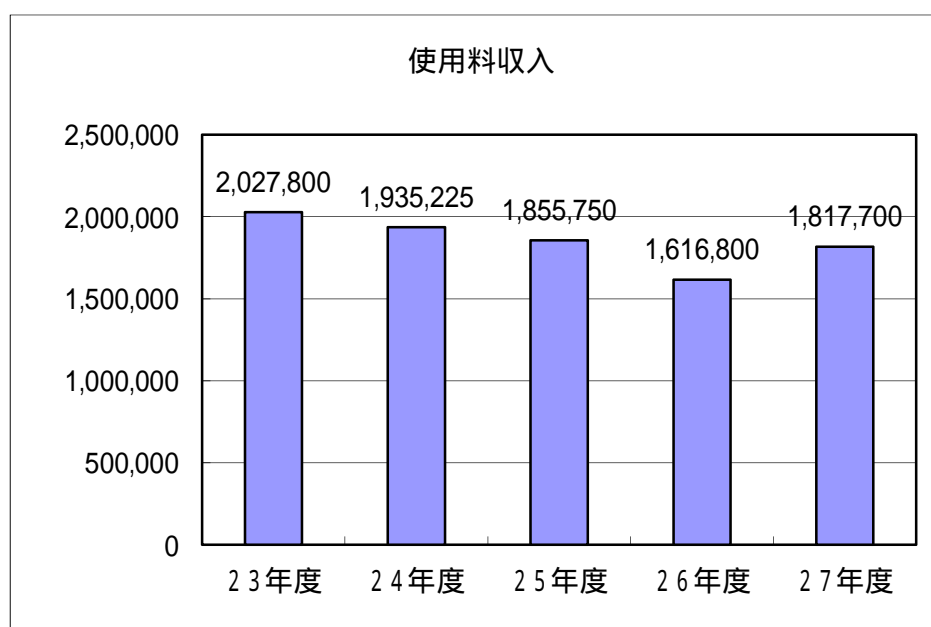
集会室の利用件数・人員の推移



施設使用料収入

平成27年度

1,817,700円



(5) 館全体事業(練馬保育園との共催事業)

けやきまつり(第29回)

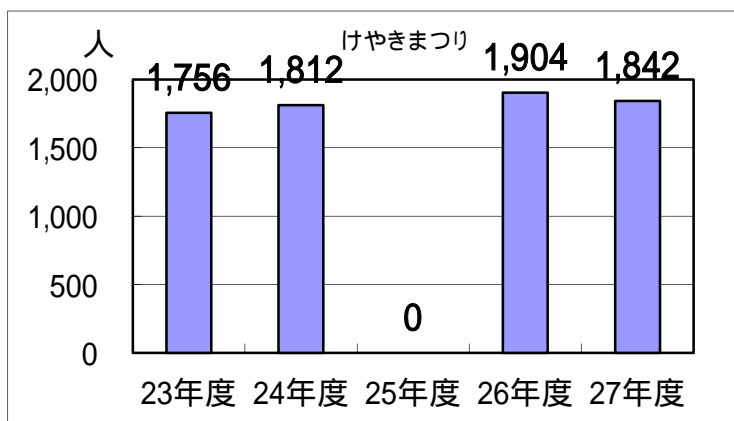
地域に定着した祭りとして、地域住民の相互交流を深める行事として、地域代表による実行委員会を中心に企画・運営を行い、毎年実施しています。

〔開催予定日〕平成27年(2015年)10月24日(土)・25日(日)

〔参加者数〕 1,842人

〔予定内容〕 模擬店 リサイクルバザー 芸能大会 作品展 似顔絵等

けやきまつり参加者数の推移



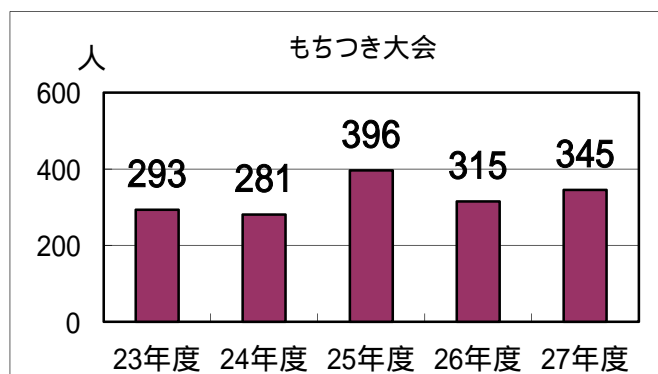
もちつき大会

厚生文化会館を会場に、12月に厚生文化会館・練馬保育園の共催で、近隣の町会・自治会、学童クラブ父母会、練馬保育園父母会等の協力を得て実施しています。つきたての餅は、地域の住民にご賞味いただいています。

〔開催日〕 平成27年(2015年)12月6日(土)

〔参加者数〕 345人

もちつき大会参加者数の推移



平成25年度は、けやきまつりが中止となったため、同まつりで実施予定であったバザー等を実施しました。

(6) 人権図書事業

人権に関わる図書・資料を収集し、1階ロビー人権図書コーナー、2階図書室で閲覧・貸出をしています。

平成27年度は、49冊を購入しました。

<貸出>

2階の図書の貸出は、日、祝休日、年末年始、臨時休館を除く、午前9時から午後5時まで、1階図書コーナーの貸出は、年末年始、臨時休館を除く、午前9時から午後8時までです。貸出し期間は2週間です。

蔵書図書数 1,995冊〔平成28年(2016年)3月末現在〕

平成27年度人権関係図書購入リスト

図 書 名	著 者
忘れられた島々 南洋群島の現代史	井上 亮
アウシュビッツを志願した男	小林 公二
デートDV・ストーカー対策のネクストステージ	伊田 広行
日本とドイツ ふたつの戦後	熊谷 亨
昭和の結婚	小泉 和子
旧満州の真実 親鸞の視座から歴史を捉え直す	チャン・シンフォン
森のようちえん的子育てのすすめ	内田 幸一
ルポ 中年童貞	仲村 淳彦
ヴェール論争 リベラリズムの試練	クリスチャン・ヨブケ
チャップリンとヒトラー メディアとイメージの世界大戦	大野 浩之
「聖戦」の残像 知とメディアの歴史社会学	福間 良明
戦場カメラマン 沢田 教一の眼	斉藤 光政
武器ビジネス マネーと戦争の「最前線」上	アンドルー・ファインスタイン
武器ビジネス マネーと戦争の「最前線」下	アンドルー・ファインスタイン
下流老人 一億総老後崩壊の衝撃	藤田 孝典
移民たちの「満州」	二松 啓紀
教育Do it! 同市で考える学級・学校づくりのヒント	明石 一朗
ルポ 過労社会	中澤 誠
「戦跡」の戦後史	福間 良明
「リベラル日本」の創生 アヘノポリシーの警鐘	平岡 秀夫

冤罪の戦後史 刑事裁判の原風景を歩く	菅野 良司
虚偽自白はこうしてつくられる	浜田 寿美男
部落解放を考える 差別の現在と解放への探求	友永 健三
朝鮮学校物語 あなたのとなりの「もうひとつの学校」	朝鮮学校物語日本版編集委員会
解放の文学 100冊のこだま	音谷 健郎
死刑冤罪 戦後6事件をたどる	里見 繁
昭和天皇の戦後日本 憲法・安保体制 にいたる道	豊下 梢彦
1 9 3 7	逸見 庸
米軍医が見た占領下京都の600日	二至村 菁
おひとりさまの最後	上野 千鶴子
福沢諭吉の朝鮮 日朝関係の中の「脱亜」	月脚 達彦
経済的徴兵制	布施 祐二
K - 消えた娘を追って	ベルナルド・クシンスキー
帝国日本の生活空間	ジョルダン・サンド
死刑に直面する人たち	佐藤 大介
すぐそこにある貧困	大西 連
戦争は女の顔をしていない	スペトラーナ・アレクシャビッチ
チェルノブイリの祈り	スペトラーナ・アレクシャビッチ
一市民が斬る！最高裁の黒い闇	志岐 武彦
日本にとって沖縄とは何か	新崎 盛輝
小倉 昌男 祈りと経営	森 健
「ことば・表現・差別」再考	おとなの学び研究会
希望ふたたび 阪神・淡路大震災で逝った息子の手紙から	加藤りつ子
放射能に追われたカナリア 災害と障害者の避難	鈴木 絹代
続アボジがこえた海 在日朝鮮人1世の戦後	李 興響
全国のあいつぐ差別事件 2015年度版	部落解放・人権政策確立要求
愛知の部落史	愛知部落解放・人権研究所
愛猿奇猿 猿まわし復活の旅	村崎 修二
解放新聞縮刷版 2014年版	

(7) その他事業

会館だよりの発行

A 4版で敬老室・児童室等の事業案内および人権図書案内などを地域の方にお知らせしています。(発行部数 毎月1,300部程度)

平成 28 年度 (2016 年度) 厚生文化会館事業計画

	館全体	児童室事業	学童クラブ事業	敬老室事業
4		新入生歓迎会	新入生歓迎会 第 1 回保護者会	
5	厚生文化会館運営 協議会(総会) けやきまつり実行 委員会(第 1 回)	練馬こどもまつり	個人面談(1年生)	菖蒲湯
6	けやきまつり実行 委員会(第 2 回)	夏のステージ	個人面談(3年生) 春の親子行事 ゲーム大会への取 り組み	
7	けやきまつり実行 委員会(第 3 回)	けやっきー人形劇 まつり 夏の遠足	第 2 回保護者会 七夕のつどいへの 取り組み 児童館連合行事へ の取り組み	七夕のつどい
8		児童館連合行事 けやっきーランド	昼食作り 水鉄砲大会 夏の遠足	
9	けやきまつり実行 委員会(第 4 回)	ミステリーポイン トゲーム	個人面談(2年生) 敬老の日のつどい への取り組み 秋の親子行事	敬老の日のつど い
10	けやきまつり実行 委員会(第 5 回) 第 30 回けやきま つり開催	けやきまつり出店	けやきまつりお手 伝い(父母会)	
11	けやきまつり実行 委員会(報告会)	こどもえんにち	こどもえんにちへ の取り組み 29 年度入会申請	
12	もちつき大会	冬のステージ 集結! 光フェスタ	もちつき大会お手 伝い(父母会) 年末お楽しみ会	柚子湯
1		児童館展	新春お楽しみ会 新春芸能発表会へ の取り組み	新春芸能発表会
2		巨大迷路 交歓フェア	第 3 回保護者会	
3		春のステージ 春の遠足	進級お祝い会 春の遠足 29 年度入会説明会	利用者懇談会 栄養教室

	館全体	児童室事業	学童クラブ事業	敬老室事業
月 例 行 事 等	会館だよりの発行	【クラブ活動】 一輪車 工作 科学で遊ぼう 英語で遊ぼう スポーツチャンバラ リズムダンス けん玉 おはなし会 卓球 フットサル 人形劇 まりつき 【幼児対象事業】 *よちよち: 1歳を過ぎた幼児親子 *とことこ: 28年4月1日現在 2歳の幼児親子 *わくわくランド: 28年4月1日現在 3歳を過ぎた幼児親子 【児童室だよりの発行】	工作活動 誕生会 おやつ作り にこにこ フレッシュキッズ クラブだよりの発行 日程未定 ドッジボール交流会	太極拳講座 (月2回) 竹ふみ健康体操 映画会 いきいき体操教室・介護相談 (練馬高齢者相談センター) よりあい喫茶 (練馬高齢者相談センター)



練馬区立厚生文化会館条例

平成 5 年 3 月 18 日

条例第 25 号

改正 平成 9 年 3 月 17 日 条例第 12 号

平成 14 年 3 月 19 日 条例第 22 号

平成 19 年 3 月 12 日 条例第 13 号

平成 22 年 12 月 16 日 条例第 48 号

注 平成 19 年 3 月から改正経過を注記した。

(目的)

第 1 条 この条例は、練馬区立厚生文化会館（以下「会館」という。）の設置、管理および利用について必要な事項を定めることにより、地域住民の相互交流および自主的活動を促進し、児童および高齢者の福祉を増進するとともに、人権尊重活動を推進することを目的とする。

(名称および位置)

第 2 条 会館の名称および位置は、つぎのとおりとする。

名称	位置
練馬区立厚生文化会館	東京都練馬区練馬四丁目 2 番 3 号

(事業)

第 3 条 会館は、第 1 条の目的を達成するため、つぎの各号に掲げる事業を行う。

- (1) 児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）第 40 条に基づく児童館事業
- (2) 敬老館事業
- (3) 集会室事業
- (4) 人権尊重に関する事業
- (5) 前各号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業

(施設)

第 4 条 会館に、つぎの各号に掲げる施設を設ける。

- (1) 会議室
- (2) 視聴覚室
- (3) 和室

- (4) 料理実習室
- (5) 図書室
- (6) 遊戯室
- (7) 娯楽室
- (8) 浴室
- (9) 相談室
- (10) 前各号に掲げるもののほか、区長が必要と認める施設

(休館日等)

第5条 会館の休館日は、1月1日から同月3日までおよび12月29日から同月31日までとする。

2 第3条第1号および第2号の事業については、前項の休館日のほか、つぎに掲げる日は利用できないものとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に定める休日(1月1日を除く。)

3 区長は、特に必要があると認めるときは、第1項に規定する休館日もしくは前項に規定する利用できない日を変更し、または臨時に休館日もしくは利用できない日を定めることができる。

(平19条例13・全改)

(開館時間等)

第6条 会館の開館時間は、午前9時から午後9時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、第3条第1号および第2号の事業に係る利用時間については、つぎのとおりとする。

- (1) 第3条第1号の事業 午前10時から午後6時まで。ただし、つぎに掲げる日においては、午前9時から午後6時までとする。

ア 土曜日

イ 練馬区教育委員会が定める練馬区立学校の夏季休業日、冬季休業日および春季休業日

ウ 都民の日条例(昭和27年東京都条例第75号)に規定する都民の日

(2) 第3条第2号の事業 午前9時から午後5時まで

3 区長は、特に必要があると認めるときは、第1項の開館時間または前項の利用時間を変更することができる。

(平22条例48・全改)

(利用の手続等)

第7条 会館の施設および備付器具(以下「施設等」という。)を利用しようとする者は、練馬区規則(以下「規則」という。)で定めるところにより申請し、区長の承認を受けなければならない。

2 区長は、前項の承認に際し、必要な条件を付けることができる。

(利用の不承認)

第8条 区長は、つぎの各号の一に該当するときは、前条第1項の承認をしない。

(1) 公の秩序または善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 営利を目的とするおそれがあると認められるとき。

(3) 会館の管理上支障があると認められるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、区長が利用を不相当と認めるとき。

(使用料)

第9条 会館の施設の使用料は、別表のとおりとする。

2 会館の備付器具の使用料は、1利用単位につき1,000円の範囲内で規則で定める。

3 第7条の規定により利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)は、前2項に規定する使用料を前納しなければならない。

(使用料の減免)

第10条 区長は、特に必要があると認めるときは、前条第1項または第2項に規定する使用料を減額し、または免除することができる。

(使用料の不還付)

第11条 既納の使用料は、還付しない。ただし、区長は、特別の理由があると認めるときは、その全部または一部を還付することができる。

(利用権の譲渡等の禁止)

第12条 利用者は、利用の権利を譲渡し、または転貸してはならない。

(利用承認の取消し等)

第13条 区長は、つぎの各号の一に該当するときは、利用の承認を取り消し、または利用を制限し、もしくは停止することができる。

- (1) 利用の目的または条件に違反したとき。
- (2) この条例または区長の指示に違反したとき。
- (3) 災害その他の理由により施設等の利用ができなくなったとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、区長が特に必要があると認めたとき。

(原状回復の義務)

第14条 利用者は、会館の施設等の利用を終了したときは、直ちに原状に回復しなければならない。前条の規定により承認を取り消され、または利用を停止されたときも同様とする。

(損害賠償の義務)

第15条 利用者は、会館の施設等を損傷し、または滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、区長は、やむを得ない理由があると認めたときは、その額を減額し、または免除することができる。

(委任)

第16条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

付則 省略

別表(第9条関係)

施設	使用料
大会議室	1時間につき700円
小会議室	1時間につき200円
視聴覚室	1時間につき300円
和室	1時間につき300円
料理実習室	1時間につき500円

練馬区立厚生文化会館条例施行規則

平成 5 年 4 月 30 日

規則第 36 号

改正 平成 11 年 6 月 24 日規則第 72 号
平成 14 年 3 月 19 日規則第 18 号
平成 15 年 1 月 9 日規則第 1 号
平成 16 年 1 月 19 日規則第 5 号
平成 17 年 3 月 31 日規則第 71 号
平成 18 年 3 月 23 日規則第 20 号
平成 19 年 3 月 30 日規則第 32 号
平成 22 年 2 月 16 日規則第 6 号
平成 24 年 7 月 31 日規則第 100 号

注 平成 17 年 3 月から改正経過を注記した。

(趣旨)

第 1 条 この規則は、練馬区立厚生文化会館条例（平成 5 年 3 月練馬区条例第 25 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(利用の手続)

第 2 条 条例第 7 条第 1 項の規定により厚生文化会館の施設および備付器具（以下「施設等」という。）を利用しようとする者（以下「申請者」という。）は、つぎの各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める書面を区長に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、区長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

- (1) 条例第 3 条第 1 号に規定する事業 児童室入室票（第 1 号様式）および児童室入室カード（第 1 号様式の 2）
- (2) 条例第 3 条第 2 号に規定する事業 敬老室利用申請書（第 1 号様式の 3）
- (3) 条例第 3 条第 3 号から第 5 号までに規定する事業 利用申請書（第 1 号様式の 4）

2 申請者は、区長が必要と認めるときは、利用の申請に当たり、区長が別に定める書類を提出しなければならない。（平 24 規則 100・全改）

(書面の提出期間等)

第 3 条 前条第 1 項の規定による書面の提出期間は、つぎの表のとおりとする。

ただし、区長は、特に公益上必要があると認めるときは、当該期間外においても書面を受け付けることができる。

事業名	利用区分	提出期間
1 条例第 3 条第 1 号および第 2 号に規定する事業	個人が施設を利用する場合	随時
2 条例第 3 条第 3 号から第 5 号までに規定する事業	1 第 7 条第 1 号から第 4 号まで、第 6 号から第 8 号までおよび第 13 号(免除となる場合に限る。) の規定により利用する場合	利用予定日前 2 月から利用日まで
	2 前項以外の場合	利用予定日前 1 月から利用日まで

2 前項の規定にかかわらず、同項の書面の提出期間内において、日曜日および国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号) 第 3 条に定める休日の書面の受付は、行わない。

3 第 1 項の規定による書面の提出時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

(平 19 規則 32 ・ 平 24 規則 100 ・ 一部改正)

(利用の承認)

第 4 条 施設等の利用の承認は、第 2 条第 1 項の規定により提出された書面の受付順序に従って行う。ただし、同時に申請があったときは、受付順序を抽選で決定するものとする。

2 区長は、第 2 条第 1 項第 2 号の申請について施設等の利用を承認したときは、敬老室利用券(第 1 号様式の 5) を、同項第 3 号の申請について施設等の利用を承認したときは、利用承認書(第 2 号様式) を申請者に交付するものとする。

3 前項の規定により利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。) は、施設等を利用しようとするときは、敬老室利用券または利用承認書を提示しなければならない。(平 24 規則 100 ・ 一部改正)

(利用の変更)

第4条の2 利用者が第2条第1項第3号に規定する事業による施設等の利用を変更しようとするときは、利用日の前日までに、利用変更申請書(第2号様式の2)に利用承認書を添えて区長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 区長は、前項の規定による申請について利用の変更を承認したときは、利用変更承認書(第2号様式の3)を利用者に交付するものとする。

3 前項の規定による変更の承認は、変更後の使用料の額と既納の使用料の額が同額の場合にのみ行うことができるものとする。

4 前条第3項の規定は、第2項の規定により変更の承認を受けた場合に準用する。(平24規則100・追加)

(利用の不承認)

第5条 区長は、利用の申請が条例第8条各号のいずれかに該当すると認めるときは、その理由を付し、利用不承認通知書(第3号様式)をもって申請者へ通知する。(平24規則100・一部改正)

(備付器具の使用料)

第6条 条例第9条第2項に規定する備付器具の使用料は、別表のとおりとする。

(使用料の減免)

第7条 条例第10条の規定により使用料を減額し、または免除することができる場合は、つぎに掲げるとおりとする。

(1) 区が主催し、または共催する事業で利用するとき。 免除

(2) 官公署が行政目的のために利用するとき。 免除

(3) 区内の団体が行政活動への協力等の目的のために利用するとき。 免除

(4) 区内の保育所等、幼稚園、小学校、中学校または特別支援学校が教育目的のために利用するとき。 免除

(5) 構成員の半数以上を75歳以上の者が占める10人以上の団体が利用するとき。 免除

(6) 区が後援し、協力し、または協賛する事業で利用するとき。 5割減額

(7) 幼稚園、小学校、中学校および特別支援学校以外の区内の学校が教育目的のために利用するとき。 5割減額

- (8) 別に定める区内の公共的団体が利用するとき。 5割減額
- (9) 別に定めるところによりあらかじめ登録を受けた団体が、当該登録を受けた目的のために利用するとき。 5割減額
- (10) 構成員の半数以上を身体障害者、知的障害者または精神障害者が占める10人以上の団体が利用するとき。 5割減額
- (11) 構成員の半数以上を65歳以上の者が占める10人以上の団体が利用するとき(第5号に該当する場合を除く。)。 5割減額
- (12) 構成員の半数以上を中学生以下の者が占める10人以上の団体が利用するとき。 5割減額
- (13) その他区長が特に必要があると認めたととき。 免除または5割減額
(平19規則32・一部改正)
(使用料の減免手続)

第8条 前条の規定により使用料の減額または免除を受けようとする者は、第2条第1項の規定による利用の申請の際に、使用料減免申請書(第1号様式の4)を区長に提出し、その承認を受けなければならない。

- 2 区長は、前項の申請があった場合において必要があると認めたとときは、減額または免除の事由を証明すべき書類等の提示を求めることができる。

(平24規則100・一部改正)
(利用の取消し等)

第9条 区長は、条例第13条の規定により利用の承認を取り消し、または利用の制限もしくは停止をするときは、その理由を付し、利用承認取消・制限・停止通知書(第5号様式)により利用者へ通知する。

- 2 利用者は、自己の都合により利用を取り消すときは、利用承認取消申請書(第6号様式)を区長に提出しなければならない。

(使用料の還付)

第10条 条例第11条ただし書の規定による使用料の全部または一部を還付することができる特別の理由および還付金額は、つぎの各号に掲げるとおりとする。

- (1) 利用者の責めに帰することができない理由により利用することができなかったとき。 全額

(2) 利用者が利用予定日前日までに利用の取消しを申し出たとき。 全額

(3) 前2号に定めるもののほか、区長が特に必要があると認めるとき。 区長
が相当と認める額 (平24規則100・一部改正)

(使用料の還付手続)

第11条 前条の規定により使用料の還付を受けようとする者は、使用料還付申請書(第7号様式)を区長に提出しなければならない。

(委任)

第12条 この規則の施行について必要な事項は、別に定める。

別表(第6条関係)(平18規則20・平22規則6・一部改正)

備付器具	使用料
大会議室舞台(幕含む。)	一式1時間につき 250円
大会議室調光	一式1時間につき 250円
大会議室音響	一式1時間につき 250円
ピアノ	一式1時間につき 250円
カラオケ	一式1時間につき 250円
ビデオプロジェクター	一式1時間につき 200円
茶道具	一式1時間につき 100円

付則、様式については省略

第1号様式(第2条関係) 第1号様式の2(第2条関係)

第1号様式の3(第2条関係) 第1号様式の4(第2条、第8条関係)

第1号様式の5(第4条関係) 第2号様式(第4条関係)

第2号様式の2(第4条の2関係) 第2号様式の3(第4条の2関係)

第3号様式(第5条関係) 第4号様式 削除

第5号様式(第9条関係) 第6号様式(第9条関係)

第7号様式(第11条関係)

練馬区立厚生文化会館運営協議会設置要綱

昭和 48 年 4 月 19 日

練厚館発第 1 7 6 号

(設置)

第 1 条 地域住民の相互交流および自主的活動を促進し、児童および高齢者の福祉を増進するとともに、人権尊重活動を推進する趣旨に沿った、練馬区立厚生文化会館(以下「会館」という。)の適切な運営を行うため、練馬区立厚生文化会館運営協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(協議事項)

第 2 条 協議会は、会館の運営に関する事項および第 1 条の趣旨を達成するために必要と認められる事項について協議する。

(組織)

第 3 条 協議会は、第 1 号から第 19 号までに掲げる団体等の代表者および第 20 号に掲げる

練馬区職員により組織する。

- (1) 練馬一丁目原町睦会
- (2) 練馬一丁目西睦会
- (3) 練馬二丁目町会
- (4) 練馬三丁目町会
- (5) 練馬三丁目親和会
- (6) 練馬四丁目町会
- (7) 都営練馬二丁目アパート自治会
- (8) 都営練馬二丁目第 2 アパート自治会
- (9) 練馬中央自治会
- (10) 練馬本町通り自治会
- (11) 練馬三丁目交友会
- (12) 都営練馬二丁目第 4 アパート自治会
- (13) 厚生文化会館学童クラブ父母の会
- (14) 練馬保育園父母の会
- (15) 部落解放同盟東京都連合会練馬支部

- (16) 練馬区青少年育成第一地区委員会
- (17) 練馬デイサービスセンター
- (18) 敬老室利用者
- (19) 集会室利用者
- (20) 総務部人権・男女共同参画課長、福祉部管理課長、練馬保育園長
および厚生文化会館長の職にある者。

2 前項の規定にかかわらず、協議会は構成員の協議により必要に応じて前項に定める者以外の者を加えることができる。

(役員)

第4条 協議会に、会長および副会長を置く。

- 2 会長は地域の代表者の中から互選する。
- 3 会長に事故あるときは、副会長がその職務を行う。
- 4 役員任期は2年とし、役員が欠けた場合の補欠役員任期は、前任者の残存期間とする。ただし、再任は妨げない。また、その任期が終了し後任者が就任するまでは、その職務を行う。

(会議)

第5条 協議会の会議は総会および例会とする。総会は年1回、例会は必要に応じて開催する。

- 2 協議会の会議は会長が招集し、これを主宰する。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、練馬区立厚生文化会館において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、協議会が定める。

付則省略

団体登録について

厚生文化会館では、地域の方々が行う文化活動等を支援するため、団体登録制度を設けています。団体登録された団体の集会室使用料は2分の1に減額されます。

1 団体登録の要件

つぎの(1)から(3)までの要件をすべて満たしている団体は登録することができます。

- (1) 文化活動または地域活動を行う団体であること。
- (2) 団体の構成員が5名以上で、かつ、構成員の7割以上が厚生文化会館を中心として概ね700mの圏域に居住し、勤務し、または通学していること。
- (3) 営利行為をしていないこと。(会費等の名目で、会の維持運営に必要な額以上の金額を徴収している場合も含まれます。)

2 団体登録の申請

登録を希望する団体は、所定の申請書につぎの書類を添えて、窓口に提出してください。

受付時間は、午前9時から午後5時までです。

- (1) 規約等
- (2) 構成員名簿および役員名簿
- (3) 会費等を徴収している団体は決算書。ただし、新しく結成した団体は予算書
- (4) その他、必要と認める書類

3 団体登録証の交付

会館で登録を認めた場合は、「団体登録証」をお渡しします。集会室の利用申請をする際に申請書と一緒に窓口に提示してください。登録証を紛失したり、破損したときは、すぐに届け出て再交付を受けてください。

登録証の期限は、平成29年6月30日です。以後2年ごとに更新します。更新手続きには、新規申請と同じく、上の(1)から(4)までの書類が必要です。

登録の要件を満たさなくなった団体は、期間内でも登録を取り消します。

4 団体の変更・解散の届け

つぎの(1)から(4)までの事項に該当する場合には、すみやかに届け出てください。

- (1) 団体の名称または代表者を変更したとき。
- (2) 団体の規約等を改正したとき。
- (3) 団体の構成員が3割以上変更したとき。
- (4) 団体が解散したとき。

お問い合わせは、厚生文化会館(3991-3080)まで

集会室の利用申請等について

資料5

<p>申込方法</p>	<p>所定の申請書に必要事項を記入して、会館窓口に提出してください。受付は申込順です。 印鑑は不要です。申込の際に使用料をお支払いください。30分も1時間の料金になります。 電話、郵送による予約・申込はできません。空き状況の問合せは電話でもできます。</p>
<p>申込期間</p>	<p>1. 申込期日 区内の公共的団体(各種父母会・小中学校PTA・町会・自治会など)等。 利用予定日の2ヶ月前(2ヶ月前の応答日)から当日まで その他の団体等 利用予定日の1ヶ月前(1ヶ月前の応答日)から当日まで なお、応答日が日曜日・祝休日及び休館日にあたるときは、その翌日が申請開始日になります。また、 応答日がないときは、翌月1日が申請開始日になります。</p> <p>2. 申込時間等 曜日 月曜日から土曜日まで(祝休日・休館日は除く) 時間 午前9時から午後5時まで 抽選 午前9時の時点で申込が重なった場合は、抽選で受付の順番を決定します。</p>
<p>利用制限</p>	<p>つぎに掲げるような場合には、会館の利用ができません。申込手続きをした後や利用時間中であっても利用をお断りすることがありますので、ご注意ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公の秩序または善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。 2 営利を目的とするおそれがあると認められるとき。 3 会館の施設を破損するおそれがある場合。 4 大きな音を出すなど、他の利用者や近隣住民に迷惑を及ぼすと認められる場合。 5 利用目的または利用条件に違反していると認められる場合。 6 宴会など、飲食を主たる目的とする場合。
<p>注意</p>	<p>利用時間には、準備・片付けの時間も含まれています(部屋が汚れた場合は、清掃をしてください)。 会館には、利用者用の駐車場はありません。 ゴミは各自・各団体でお持ち帰りください。 館内は禁煙です。(喫煙は指定された場所をお願い致します)</p>
<p>還付</p>	<p>利用予定日の前日(ただし、日曜・祝休日・休館日に当たる場合はその前日)までに利用承認書を持参のうえ、所定の書類で取り消し申請等の手続きをした場合は、使用料を全額お返しいたします(銀行振込になります)。</p>
<p>使用料の減免(主なもの)</p>	<p>構成員の半数以上を75歳以上の者が占める10名以上の団体が利用するとき。 免除 区内の保育園等、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が教育目的のために利用するとき。 免除 区内の公共的団体(各種父母会・小中学校PTA・町会・自治会など)が利用するとき。 2分の1に減額 構成員の半数以上を65歳以上の者が占める10名以上の団体が利用するとき。 2分の1に減額 構成員の半数以上を中学生以下の者が占める10名以上の団体が利用するとき 2分の1に減額 構成員の半数以上を身体障害者、知的障害者または精神障害者が占める10名以上の団体が利用するとき 2分の1に減額 厚生文化会館登録団体が登録を受けた目的のために利用するとき 2分の1に減額 など・・・いずれも区内や地域内に居住などの要件があります。</p> <p>詳しい手続き方法については会館までお問い合わせください。</p>

= 皆様の施設です！お互いに気持ちよく利用しましょう =

敬老室の利用案内

1 利用時間

午前9時～午後5時

2 休み

日曜日・祝休日・年末年始（12月29日～1月3日）

3 ご利用できる方

区内在住の60歳以上の方

4 登録

ご利用いただくには登録が必要です。

登録するには、住所を証明できるもの（健康保険証・官公署からの郵便物等）と緊急時に連絡のとれる方のお名前、ご住所と電話番号をご用意ください。

利用券を交付いたします。利用は無料です。

5 利用できる施設の内容

施設名 面積 特徴等

娯楽室（30畳） 舞台付きの和室です。

お茶は自由にお飲みいただけます。

火曜・木曜・土曜はカラオケが楽しめます。

和室（8畳） 囲碁・将棋ができます。

浴室（67㎡） 利用時間は午後1時～4時。男女一つずつ浴槽があります。

月、火、水、金、土曜日に入れます。

6 行事予定

毎月、太極拳講座、健康竹ふみ体操、いきいき体操教室・介護相談などを行います。

そのほかに例年行事として、七夕のつどい、芸能発表会などを行います。

行事の予定は、会館だよりや館内掲示でお知らせします。